



第2次日野市公民館基本計画(令和2～令和6年度) ロードマップ 素案

基本目標



- 1 豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す ～市民の日常生活に寄り添って～
- 2 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ ～誰一人取り残さずに～
- 3 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す ～まちの未来に向かって～

凡例  : 事業開発期間
 : 事業実施期間

1 豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す		2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	
1	施策の柱	具体的施策					
	市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり	1 楽しく学び、集っていきる					
		継続	・成人事業を活用した体験、対話ができる学びの場の創造				
		継続	・ひの市民大学における市民の「学びたいことを学べる」場の充実				
		2 情報発信					
		継続	・中央公民館「テラス+談話室」を効果的な「多世代広場」事業の実施				
		継続	・東京都公民館連絡協議会・大学等の情報網を活かしたスキルアップのための学習情報提供				
		新規	・公民館ホームページの充実、SNS利用等による公民館認知度の向上事業				
		新規	・公民館だよりの充実及び「人」を介した配布方法による公民館認知度の向上事業				
		新規	・公民館未利用者のニーズを把握した新たな来館者の広がりを目指す事業				
		新規	・学校との連携強化のためのICTシステム導入の検討				
		3 公民館の運営					
		継続	・公民館運営審議会による適正な評価				
継続		・老朽化する公民館の運営維持					
2	「学び、学びあい」による生きがいづくり	1 新しい公民館の運営					
		新規	・NPO等の関係機関との協働による生きがい創出事業				
		新規	・夜間の空き部屋の市民利用（学生の学習場所）の活用事業				
		2 学び、学びあい事業の促進					
		継続	・高齢者事業を活用した体験・対話ができる学びの場の創造				
		継続	・映画会事業を活用した体験・対話ができる学びの場の創造				
		新規	・市民の企画から学んだことを活かせる環境づくり、フォローアップ支援事業				
		3 サークル活動への支援					

		継続	・サークル運営への職員の相談・支援スキルの向上。						
		継続	・サークル交流会による利用団体の相互の学習の充実						
		新規	・イベント等を通じたサークル活動による公民館未利用者への学びきっかけづくり						
2 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ									
	施策の柱		具体的施策	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	
1	地域をステージに自ら考え、ともに行動する学びを実現する	1 地域をステージにした学びの機会・場の創造							
拡充		・「学びのモデル事業」を発展させ、地域の社会的資源と連携・活用する「移動公民館」事業への拡充							
新規		・様々な知識・技術を持った市民を募集し、市民の生活課題解決に結びつける仕組みの開発							
新規		・市内企業等との連携による事業の充実							
2 多文化共生社会の支援									
継続		・国際理解講座を通じた多世代交流の場づくり事業の実施							
継続		・障害をもつ少年たちを通じた多世代交流の場づくり事業の実施							
継続		・障害者事業の成果を「見える化」し、市民が事業支援に参加することを促す事業の推進							
新規		・誰一人取り残さない社会を実現する「SDGs」を学び、実践する事業の実施							
新規		・サークルや民間企業等と連携し、外国籍の市民に日野市の魅力を知ってもらい、地域に参加する事業の推進							
2 高幡台分室の魅力向上									
新規		・自然豊かな地域の魅力を活かし、地域の若者・大学・企業等と協働する事業の展開							
3 職員の地域コーディネート力の向上									
継続		・職員がより市民の暮らしを良くする学びの提供ができる知識・技術を持つ地域コーディネーターやネットワークを構築する能力取得のための研修を実施							
2	地域の社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決の支援をする	1 暮らしのための学びを入口に地域活動							
継続		・地域の若者の発想を活かし、暮らしの課題解決のための学びの事業の実施							
2 暮らしに寄り添う事業の実施									
継続		・現代社会の「生きづらさ」を学びによるコミュニティで応援する事業の実施							
		継続	・「社会教育無料の原則」の維持						
3		1 安全安心な社会の応援							

暮らしと地域に結び付いた安全安心な社会をつくる	継続	・丘陵地・河川地域の特質に即した防災講座等の充実							
	継続	・消費生活関係団体等との連携による市民の暮らしを守る講座等の充実							
3 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す									
施策の柱		具体的施策	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年		
1 子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する		1 切れ目のない学びの機会・場の創造							
	拡充	・地域資源を活用した成人事業により、多世代交流 体験 を充実させる	▶						
	継続	・子どもを主役にする事業による多世代交流の実現	▶						
	継続	・若者・子育て世代や様々な条件の市民が参加しやすく、交流できるプログラムの充実							
	継続	・地域福祉と連携した食生活・健康等を向上させるプログラムの充実							
	新規	・子どもがまちを学び、体験し発表する「子ども企画会議」事業の実施	▶						
	新規	・市民のワークライフバランスに貢献する働きながらでも学べる環境の実現							
		2 集いの場の拡充							
	継続	・公民館主催イベントや市民活動関係団体のイベントを利用し、市民の交流・相互学習の場の充実							
		3 集いの場の創造							
新規	・保育室及び周辺を修繕し、多世代がくつろぎ、交流をできる「多世代ガーデン」の創造								
2 平和な暮らしを支える意識を育み、未来につなぐ		1 人権を守る事業の推進							
	継続	・憲法・人権講座の充実							
		2 平和を維持する事業の推進							
拡充	・平和事業への若い世代参加の促進	▶							
3 様々な地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実する		1 社会教育施設との連携							
	継続	・市内社会教育施設（図書館・博物館等）やその他の社会的資源との連携し市民がこのまちを知り、学びを実践する場の充実							
継続	・生涯学習部門による1課3館合同事業の推進								
4 まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する		1 まちの文化・歴史を活かした学びの機会・場の創造							
	継続	・伝統文化を活かした講座等の創造							

2 まちの自然を活かした学びの機会・場の創造						
拡充	・田んぼの学校を活用し、自然環境を多世代で体験できる学びの場の創造					
拡充	・ひのっ子シェフコンテストを活用した「日野の農」を知る学びの機会の創造	